

御祈祷・御札の説明（お札の願目一覧は裏面）

まず、仏教の御加護を得るなら、仏教の教えを守ることが必要です。まずは一番重要だと思われる「中道」。これは本当に簡略化するなら「様々なものに囚われずに、その時その時に人事を尽くして**最善の道**を選択すること」だと思ってください。詳しくはとても大切なことなので別の機会に説明したいと思います。そして「中道」を歩む中でなるべく避けたい悪い結果に結びついてしまう、**悪因**があります。例えばその有名なものが下記の「十悪」です。

■身による悪

- ①殺生（せっしょう） 生きものの生命を奪う。
- ②偷盗（ちゅうとう） 与えられていない他人の物を盗み。束縛する。
- ③邪淫（じゃいん） よこしまな男女の交わり。

■口による悪

- ④妄語（もうご） 嘘をつく。でたらめを言う。詭弁をろうする。
- ⑤綺語（きご） 綺麗事などの無益なこと。見栄を張ること。
- ⑥悪口（あつく） 陰口や誹謗中傷などの他人を傷つける。
- ⑦両舌（りょうぜつ） 二枚舌など、他人の仲を裂く。

■意（心）による悪

- ⑧慳貪（けんどん） 財物や地位、権力、愛情などをむさぼる異常な欲。
- ⑨瞋恚（しんい） 怒りや憎み、妬み嫉み。わがまま。
- ⑩邪見（じゃかん） 思い込みや偏見などの誤った見解や行動。

その為、仏教では悪因を断つために仏教の基本と伝えられる言葉を唱えます。

諸悪莫作（しょあくまくさ）、諸善奉行（しゅぜんぶぎょう）、自浄其意（じじょうごい）、是諸仏教（ぜしよぶつきょう）

⇒様々な悪をなすことなく、善い行いを積み、心を清浄とする。これ仏教の教えなり。

中道を進み、十悪を避けていけば悪因を結ぶこともなく、多くの**悪果**を避けていくことができるはずです。その上で、こういった仏教の教えを説いてくださったお釈迦様が、仏教を信じ、守る者。特に一番大事な「南無妙法蓮華経」という教えを信じる者は**鬼子母神様**を筆頭に神仏が守護する、というお経の一文があります。だからこそ、法華経を信じる日蓮宗では守護神として鬼子母神様を大切に祀っています。この「鬼子母尊神大祭」の御祈祷は、我々が仏教を信じ守ることを鬼子母神様に**報告**し、我々を御守護くださいという**願い**、いつもお守りくださってありがとうございますという**感謝を伝える**為の御祈祷です。祈る対象こそ違いますが仏教以外の他宗派もこれはかわりません。

お配りするお札にもそれ相応の意味を込めています。まずはスペースの関係で入らなかった「交通安全」を除き、全てのお札に記載がある「**仏教を解し、人事を尽くさば、大難は小難に、小難は無難に**」という言葉。この言葉は先述した内容を私なりにまとめたものです。その上で、心がけた方が良い言葉を書かせて頂きました。この言葉が仏教の全てではありませんし、中には長文などから一部分だけを抜粋し

「身体健全」 → 身意一体 良身良意

⇒身（体）と意（心）は繋がっている。だからこそ、悪を犯さない良き体、良き心、そのどちらもが必要。さらにどちらかを良くすればもう片方も良くなる。

「良縁成就」 → 深敬汝等 不敢輕慢

⇒「あなた達を深く敬い、決して見下したりしない」という意味です。相手を見つける際に年収は、身長は、性格は、全てを望み過ぎて相手を見下したりしていませんか。

「除厄開運」または「除災得幸」 → 諸悪莫作 自淨其意

⇒先ほど紹介した言葉の抜粋です。厄や災いとは複雑に絡み合った悪因だと思われる為、全ての悪因を慎み、善行を積み、なるべく自身の心を清浄にすることが大切です。

「病氣平癒」 → 一病息災 笑門來福

⇒人は大きなくくりで見れば必ず「病」にはかかります。足を良く使えば足が、頭を良く使えば頭がです。ならばこそ、避けることの難しい「病氣になった」という悪因に囚われて塞ぎ込み、心まで病み、妬み嫉みや邪見に陥るよりも、楽しいことは楽しく、明るいことは明るく、心を清浄にして、笑う方が人生の為にも治療の為にも最善です。

「家内安全」 → 汝勿外尋 但内守一

⇒私達の心は外にばかり向けられます。人と丈比べをし、損得を計算し、妬み嫉みなどの心による悪が生じます。だからこそ自身の内面に目を向けて自分を見直すことが必要です。家庭も同様、外側に行きがちな目を内側に向け、もう一度見直してみるべきです。

「商売繁盛」 → 悪口悪因 愛語良因

⇒商売において大切なのはやはり「信頼」でしょう。それを失うことの筆頭が「口による悪」です。その為、仏教では「愛語」（相手を思いやり傷つけない言葉）を大切にします。簡単にいうと「誠意」のある言葉だと思います。

「交通安全」 → 邪見招災 正見招福

⇒邪見とは「正しく見ないこと」「思い込む」ことです。教習所で習った通り、注意散漫や人がいないという思い込みが災いを招きます。

「学徳増進」 → 少水常流 即能穿石

⇒使い古された言葉ですが、だからこそ真理だと思います。少ない水とはいえ、常に流れ続けることで固い石すらも穿つ。水の多い少ないではなく、絶え間なく流れ続けることが重要です。

「発育増進」 → 良縁良識 良身意生

⇒良い縁、良い識（認識、体験）に恵まれること、それが良い体と心を生む。

「安産祈願」 → 安産子育 鬼子母尊神之本願也

⇒安産や子育に関してはうちのお寺でお祀りしている鬼子母神様こそ、その守り神とされる「天拝子育鬼子母尊神」です。一番御守護を頂けるお願いです。

「心願成就」 → 泥中蓮華 有泥華咲

⇒仏教の花である蓮、その理由は蓮は汚い泥の中であってなお、泥にまみれず、綺麗な華を咲かせる。しかし泥が無ければ蓮は咲けない、という言葉を表したもので